**The Quality Horizon – The Value of AIMM**

要約

スーザンとロベルト・チアスキの会話では、AIMM（航空宇宙成熟度モデル）について説明されています。

* **AIMMとは**:
  + AIMMは、組織の改善意欲を管理するためのツールです。
  + 9100規格に基づき、成熟度を5段階に分類して評価します。
* **AIMMの導入の背景**:
  + 9100規格やISO9001が求める継続的な改善のニーズに応えるために開発されました。
  + 改善の測定方法やシステムを提供します。
* **利用対象**:
  + 主に9100規格に基づいた品質マネジメントシステムを持つ組織が対象です。
  + 認証取得の準備や自己評価ツールとしても利用可能です。
* **モジュールとプロセス**:
  + 26の独立したモジュールがあり、組織は必要に応じて優先順位を付けて実施できます。
  + アセスメントはオンラインで実施し、結果の保存や更新が可能です。
* **セキュリティ対策**:
  + データはIAQG専用サーバーに保存され、ユーザー間でデータは共有されません。
  + 将来的にはローカルストレージの実装も検討しています。
* **フィードバックと統計**:
  + 現在、2200人の登録ユーザーがあり、目標の2倍を達成しています。
  + 78カ国からの訪問者があり、さらなる導入を目指しています。
* **利用方法**:
  + IAQGのウェブサイトからAIMMにアクセスし、申請できます。
  + ウェビナーやFAQも利用可能で、登録前に情報を確認できます。

ロベルトは、AIMMがシンプルで使いやすいツールであると強調し、内部監査人や一般的な監査人にも適していると述べています。また、フィードバックを歓迎し、さらなる改善を目指しています。

＝＝＝＝＝

スーザン：皆さん、こんにちは。ようこそ。今日はAIMMのチームリーダー、ロベルト・チアスキと一緒です。AIMMは航空宇宙成熟度モデルの略で、IAQGが提供する業界向けの最新ツールです。ようこそ、ロベルト。

ロベルト：ありがとうございます。

スーザン：ありがとうございます。最初に、AIMMを知らない人のために、AIMMとは何なのかを知りたいと思います。

ロベルト：AIMMは、組織を改善する意欲を管理するためのツールです。AIMMは9100規格に基づいたモデルで、9100規格から導き出されたそれぞれのアウトプットのセットと、これらのアウトプットを実施する上での成熟度を5段階に分類したものです。そして、各アウトプットがどのレベルに達しているかを判断する基準である。これがAIMMモデルです。

スーザン：では、そのきっかけは何だったのでしょう？そもそもなぜAIMMモデルなのでしょう？

ロベルト：質の高い組織にとって、継続的な改善は死活問題です。そしてそれは、9100規格やISO9001の中に組み込まれています。この規格は組織に継続的な改善を求めていますが、この改善を管理するための具体的なツールは提供していません。したがって、AIMMは、9100規格への単純な準拠を越えて、改善を測定するシステムや方法を持ちたいと考える組織のためのものなのです。

ロベルト：成熟度を測ることができれば、改善のための目標を設定することができるわけですね。そして、自分がどのレベルにいるのかがわかり、段階的なスケールで改善していることがわかれば、モチベーションが少し上がります。これにより、改善に対する認識が向上し、改善に対するモチベーションが向上します。

スーザン：これは誰でも使えるのですか？航空宇宙産業だけですか？9100の最初の監査を受ける前ですか？それとも？どんなときに使うのですか？

ロベルト：まず、どの組織が該当するか？これは9100規格に基づいています。したがって、少し難しいのです。組織は少なくとも品質マネジメントシステムを持っていなければなりません。ISO9001に関して9100が導入した追加要求事項は、ISO9001に準拠したものですが、それでも難しい部分があります。つまり、製造と設計を行い、少なくともISO9001に適合している組織のためのものです。必ずしも認証を受ける必要はありません。

ロベルト：これはまた、認証取得に向けた準備として、非常に有用なツールでもあります。QMSの展開のレベルと範囲を自己評価する方法としても使えます。したがって、準備するための良いツールです。

スーザン：さて、26のモジュール、5つのレベルがあるとおっしゃいましたね。その全容を把握するためには、当然、すべてを使う必要があります。しかし、それが長く複雑と思いませんか？26は多いように聞こえますが。

ロベルト：そうです。すべてのモデルを一度にやる必要はまったくない。モジュールは独立しています。そのため、組織が必要に応じて使えるように考えられています。優先順位の高いモジュールから始めるべきです。

ロベルト：組織の成功により役立つものから。あるいは、低いところにぶら下がっている果実から始めることもある。手っ取り早く結果を出せるところ。そして、一番難しいものは後回しにすればいい。

スーザン：では、誰かがそれをするとき、どのようなプロセスを踏むのでしょうか？ウェブサイトにログインするのですか？会員企業ですか？会社がやっているのですか？

スーザン：個人でやるのですか？サイトやAIMM、ツールはどのように使われているのですか？

ロベルト：わかりました。 AIMMがモデルであることは重要です。つまり、先ほど申し上げたように、レベルと期待される結果をマッピングした一連の基準ということです。そしてアセスメントを実行するためのオンラインアプリケーションでもあります。

ロベルト ：組織がアセスメントを実施する場合、1人で行うことも、チームで行うこともできます。AIMMのユーザーガイドには、アセスメントの実施方法、アセスメントの組織化方法について、適切なアドバイスが掲載されています。これはAIMMのウェブサイトで自由に入手できる。アセスメントを実施することが決まったら、アセスメントの範囲、どのモデル、どのターゲット、誰が何をするのかを決定しなければならない。そして、ツールはアセスメントの実施、結果の表示、データの保存をサポートし、組織は以前のアセスメントに戻って更新することができる。

スーザン：つまり、アセスメントが実施され、そのデータが回収され、どこまで改善されたかを判断する。後日、その時点にさかのぼって、基本的に比較することができるのですね？

ロベルト：そうです。通常、アセスメントを行い、改善点を特定し、改善策に合意して実施し、再評価を行います。

ロベルト：そうなると、あるモジュールについて、前回の評価でどのレベルに達したかを比較することになる。そして再評価では、改善が見られたかどうかを確認します。実は、あるアセスメントと別のアセスメントの結果を比較するこの機能は、将来のリリースでツールを実装する予定です。

スーザン：それは素晴らしいですね。将来のことについてはすでにいくつかお話ししましたが、フィードバックについてお話ししましょう。これは8月から公開されているのですね？

ロベルト： 昨年の8月です。まだ1年経っていないね。

スーザン：ああ、1年ちょっとです。発行から1年ぐらい経つのですかね。みんなの評判はどうですか？

ロベルト：ええ、たくさんのフィードバックをいただきました。例えば、ボーイング社からは、40近いサイトでAIMMを使用したという報告がありました。これは、私たちにとって非常にエキサイティングなフィードバックでした。

ロベルト： そして、さらなるアイデアも得られました。たとえば、これは、さまざまなサイトのアセスメント結果をより高いレベルでロールアップし、企業レベルで統合するための新しい機能が生まれました。そして一般的に、改善点を特定するのに役立つという、非常に肯定的なフィードバックを得ることができました。とても使いやすい。そして、より有用なものにするために、機能を改善するためのフィードバックを本当に求めています。

スーザン：素晴らしいフィードバックをいただきましたね。まだ懐疑的な人もいると思いますが。セキュリティに関する質問も多いでしょうね。どうすればそれを和らげることができるでしょうか？このモジュールが彼らのためのものであることを、どうやって人々に伝えるのか？また、セキュリティが問題だという誤った情報を払拭するには、どんな方法があるでしょうか？

ロベルト：なるほど、セキュリティは大きな懸念事項ですね。

スーザン：そうですね。

ロベルト：他のユーザーが結果を見たり、入力したデータを見たり、IAQGがデータを見たりすることができるような質問を受け取りました。また、データはどこに保存されるのですか？

ロベルト：私たちは、これらすべてにお答えします。AIMMは高度なデータ保護を念頭に置いて設計されています。そのため、どのユーザーも他のユーザーのデータを見ることはできません。またIAQGも、ユーザーが入力したデータを見ることはできません。しかし理論的には、システム開発者にとっては可能かもしれません。

ロベルト：彼らはコードとデータベースを持っています。そのため、パスフレーズという暗号化レベルを追加しました。このパスフレーズを採用すれば、システム開発者がユーザーデータを見ることも不可能になります。もちろん、欠点もあります。パスフレーズを紛失した場合、誰もあなたのデータを取り出すことはできません。

ロベルト データはジャスパー・インタラクティブが管理するIAQG専用サーバーに保存されます。そのため、クラウド上のどこかにあるわけではありません。IAQGのアプリケーションはすべて、このサーバー上にあります。

ロベルト：次の段階では、ローカル・データ・ストレージの実装を考えています。そうすれば、ユーザーはオンラインでアセスメントを行い、最後にオンラインで保存するか、ローカル・マシンにダウンロードしてオンラインで削除するかを決めることができます。したがって、これは将来のアプリケーションのリリースで可能になるはずです。また、間違いなくデータは確実に保護され、いつでもシステムによって削除することができます。

スーザン：多くの企業で、そのことが本当に多くの恐怖を鎮めたのでしょうね。私はある統計を読んだのですが、これは数ヶ月前でもかなり古いものだと思います。72カ国、72の企業がすでにこれを使用していますが、それ以上だと思います。今、共有すべき統計はありますか？

ロベルト：はい、もちろんです。ウェブサイトには78カ国からの訪問者があります。私たちには、訪問者数やセッション数といった指標があります。登録ユーザー数はとても重要です。現在、登録ユーザー数は2200人です。目標を1000人程度としていたので、すでに2倍になっています。

ロベルト：しかし現在、潜在的なユーザー数を見ると9100に認定された組織を見ており20,000を超えています。したがって、これが私たちの最終目標です。つまり、AIMMを使用するためのすべての認定組織、少なくともその50％です。

スーザン：この数字があれば、まだまだAIMMを導入している人々に話をすることができますね。では、最初のステップは何でしょう？AIMMを利用するにはどこに行けばいいのでしょう？どこでモジュールを入手するのですか？

ロベルト：IAQGのウェブサイトにアクセスします。AIMMのリンクをクリックすると、AIMMの申請ができます。

スーザン：そのアプリケーションには、使い方の情報はありますか？ウェビナーやガイド、ツールなどはありますか？すべて利用できるのですか？

ロベルト：もちろんです： ウェビナーで実際に寄せられた質問から生まれた、非常に広範なFAQもあります。また、これらのウェビナーには登録前でもアクセスできます。

スーザン：登録しなくても、その情報にアクセスできるのですね？

ロベルト：それを読んでから、登録するかどうかを決めればいいのです。

スーザン：素晴らしい。では、AIMMについてあまりよく知らない人、あるいはAIMMに登録するかしないか決めかねている人たちに伝えたいことはありますか？そのような人たちに何か言いたいことはありますか？

ロベルト：AIMMについて特別なことは、成熟度モデルは他にもありますが、とても複雑だということです。それに、アセスメントを行うには資格を持った評価者が必要です。AIMMはとてもシンプルです。資格のある評価者や専門家である必要はない。AIMMは安全なアセスメントを実施するために設計されており、内部監査人のためのものです。

ロベルト：普通の監査人なら、何の問題もなくすぐに使えるようになるでしょう。また、AIMMの優れた点は、非常に透明性が高いことだと思います。ブラックボックスのように、何かを入れれば、その仕組みを理解せずに結果が出るというものではありません。レベル計算のルールはとても理解しやすく、アプリケーションにはダッシュボードがあり、現在地や進捗状況、取り組んでいる内容が表示されます。

スーザン：実際の監査が行われる前、あるいは監査が行われた後でも、非常にチェック・アンド・バランスに役立ちます。素晴らしいツールです。使ってみたいと思っている人なら誰でも、本当の価値を提供できると思います。

ロベルト：そう思います。このことが実際のユーザーによって確認されることを願っています。肯定的、否定的、建設的なフィードバックをいただきたい。

スーザン：それは素晴らしい。ありがとう、ロベルト。AIMMについてお話しできてとてもよかったです。AIMMをお探しの方は、AIMM.IAQG.orgにアクセスするか、IAQGのウェブサイトIAQG.orgにアクセスして、一番上にあるAIMMのボタンをクリックしてください。ありがとうございました。学ぶことができて幸せです。

ロベルト：ありがとうございます。

スーザン：スーザン・マトソンです。IAQGクオリティ・ホライズンをお聴きいただきました。次回までお元気で。